

～これからの飯山をつくる～

飯山市第6次総合計画

かわら版 vol.9

令和5年4月28日発行
事業戦略課

最終号

飯山市基本構想審議会開催

令和5年3月14日に第5回基本構想審議会を開催しました。

最終回となる今回の会議では、前期基本計画(素案)の答申案について審議を行いました。1月に市長から諮問を受けて以降、会議のほか、メールや書面を通じて意見聴取を行ってきました。委員からは達成目標や計画書に掲げるべき施策などへの提言、また、文章の表現まで、細部にわたりご意見をいただきました。

また、パブリックコメントへの対応も含め、いただいた意見を反映した答申案について承認をいただきました。

同日、審議会終了後、坪根会長から市長へ、前期基本計画(素案)の審議結果について答申しました。

市長からは、皆様に審議いただいた将来のまちの姿にある「里山」というキーワードについて、飯山の里山は、唱歌「故郷」など、誰もが思い浮かべる懐かしいふるさとの風景の中に、利便性の高い北陸新幹線飯山駅と高速ICがあり、他にない魅力的な地域である。先を見通しづらい状況下での計画づくりは、難しかったと思うが、長期にわたり熱心に審議いただいた、と感謝の意を表しました。



坪根会長(中央)から市長へ答申

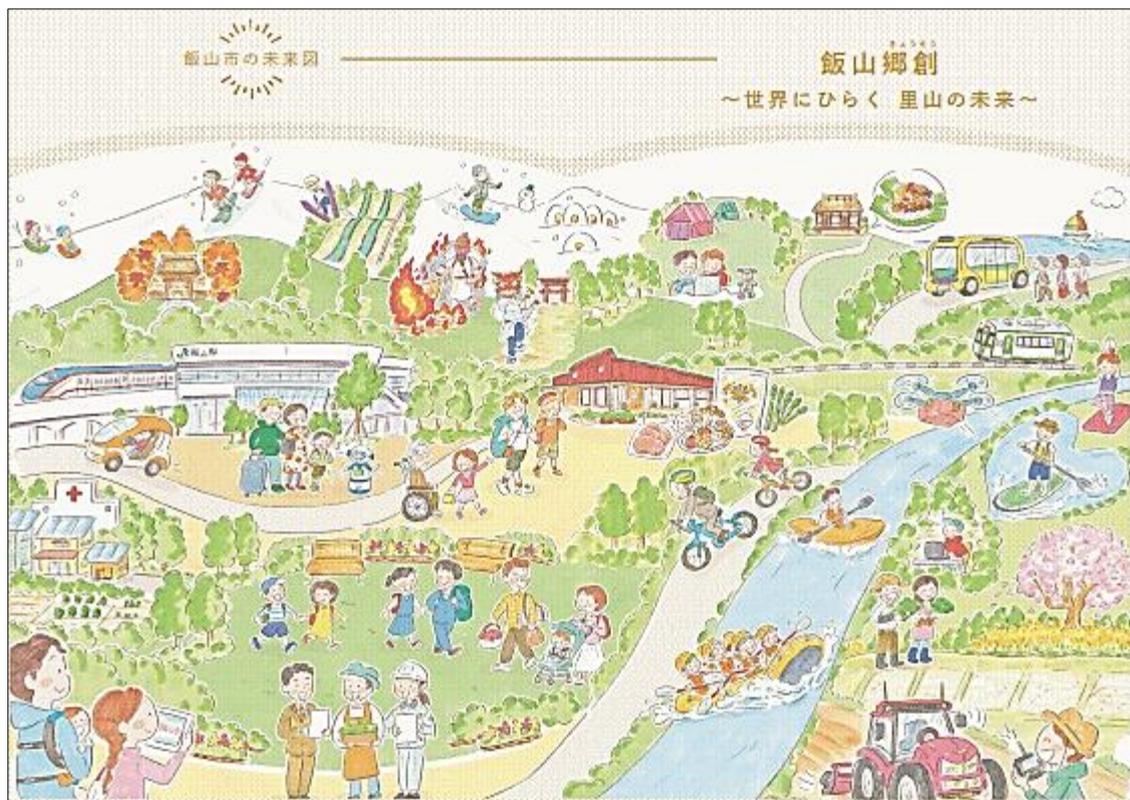
飯山市基本構想審議会委員の皆様、お疲れ様でした！

9月から半年にわたり審議をいただきました。会議の合間においても書面やメールによる意見聴取などご尽力いただきました。各団体の代表として、また、市民の代表として、貴重なご意見、ご提言をいただきました。ご審議いただいた結果を踏まえ、令和5年3月末に第6次総合計画を策定しました。

【裏面もあります】

市民アイデア会議 ～将来のまちの姿 イメージ化～

計画づくりにおける市民アイデア会議の最後の検討事項「将来のまちの姿のイメージ化」について、ワークショップや会議、意見聴取を経て完成しました。



イラストには、10年後も「楽しく子育てができて」「スキーが盛ん」、「未来テクノロジーが生活の一部に」、「様々なアクティビティが楽しめる」、「お祭りが継承されている」、「飯山の食がブランド化につながっている」、「使いやすい公共交通がある」、「みんな生き生きと暮らしている」など、委員の願いが沢山詰まっています。

市民アイデア会議の皆様、お疲れ様でした！

市民アイデア会議は、これをもって計画づくりに関する役割を終え、これからは市の施策全般に関して取り組みます。将来のまちの姿の実現に向け、引き続きよろしくお願ひします。

【編集後記】

このかわら版は、多くの皆さんに市政に関心や関わりを持っていただきたいと願ひ、計画策定の進捗状況を中心に発行してきました。計画づくりを振り返ると、庁内協議を含め、約1年半かかりました。行政のみではなく、基本構想審議会や市民アイデア会議、ヒアリングを行った各種団体、意見聴取を行った市民の皆様、ミライの姿を提案いただいた小中学生の皆さんなど、多くの市民に関わっていただきました。いただいた提言などは、審議会に諮りながら計画に反映できたことから、改めてこのようなプロセスが重要であると感じました。

これからはこの計画を実践していきます。市民、事業者、各種団体、行政が一丸となり、「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向けて、取り組みましょう！

事業戦略課(※4月から“室”から“課”に変わりました)